

## ARM7TDMI 用 GNU ツールインストール方法

### 1. はじめに

本資料は、ARM7TDMI 用  $\mu$  T-Kernel のコンパイルに利用する GNU ツールのインストール手順について示したものです。本ツールを使って T-Engine フォーラムから配布されている  $\mu$  T-Kernel のリファレンスコードをビルドすることにより、 $\mu$  Teaboard/ARM7-AT91 で実行可能な  $\mu$  T-Kernel を生成することができます。

### 2. 注意事項

本 GNU ツールは、 $\mu$  Teaboard/ARM7-AT91 で実行可能な  $\mu$  T-Kernel の生成に利用されることのみを想定しています。これ以外の用途での利用は想定していません。

T-Engine フォーラムは、本ツールに対するサポートは行なっておりません。

### 3. インストール手順

#### 3.1. Cygwin<sup>TM</sup>のインストール

本 GNU ツールは Windows<sup>®</sup> 上の UNIX エミュレータである Cygwin<sup>TM</sup> 上で実行します。Cygwin の Web ページ (<http://www.cygwin.com/>) を参照して Cygwin をインストールしてください。インストールするパッケージはデフォルトで選択されているものに加えて `make` (Devel カテゴリにあります) が必要です。

### 3.2. GNU ツールのインストール

注意:

/usr/local/arm7tdmi ディレクトリ配下にすでにファイルがある場合は、本ツールのインストールによって誤ってファイルが上書きされることが無いよう、事前にディレクトリ名を変更するなどの処置を行ってください。

#### (1) GNU ツールのインストール

Web ページからダウンロードしたアーカイブファイル(devenv\_arm7tdmi.tgz)を/usr/local ディレクトリにコピーし展開すると/usr/local/arm7tdmi ディレクトリ配下に GNU ツールがインストールされます。

```
$ cd /usr/local
$ tar xzf devenv_arm7tdmi.tgz
```

#### (2) 環境変数の設定

GNU ツールをインストールした後、利用する環境に合わせて以下の環境変数を定義します。

BD	<p><math>\mu</math>T-Kernel のベースディレクトリ</p> <p><math>\mu</math>T-Kernel をインストールしたディレクトリを設定します。</p> <p>例) /usr/local/te/utkernel_source</p>
GNUs	<p>GNU 関連ツール</p> <p>GNU make があるディレクトリを指定します。</p> <p>make が/usr/bin にあれば/usrを指定します。</p>
GNU_BD	<p>クロス開発用 GNU 関連ツールのベースディレクトリ</p> <p>例) /usr/local/arm7tdmi</p>
GNUarm	<p>ARM7TDMI 用 GNU 関連ツールのディレクトリ</p> <p>例) \$GNU_BD/arm-elf</p>
GCC_EXEC_PREFIX	<p>gcc 関連ディレクトリ</p> <p>開発環境に含まれる ARM7TDMI 用 GNU 関連ツールのディレクトリを設定します。通常は\$GNU_BD/lib/gcc-libを設定してください。</p>

これ以降の手順については、 $\mu$ T-Kernel ソースコード説明書(utkernel.txt)を参照してください。

以上